

稲城市体育協会

発行 稲城市体育協会
 電話 042(378)2111
 内線 (642)
 編集 稲城市体育協会
 広報 報委員
 発行日 平成23年12月5日
 通巻 第46号



稲城市体育協会の平成23年度評議員会が5月29日、地域振興プラザ会議室において開催されました。
 福島会長挨拶のあと、22年度事業経過報告、収支決算報告、監査報告が行われ、さらに平成22年度ジュニア育成推進事業特別会計決算報告及び多摩川緑地公園グラウンド施設維持管理業務特別会計決算報告を行いました。
 引続き体育協会役員改選を行い平成23〜24年度の役員を決定しました。
 このあと23年度事業計画、予算、ジュニア育成特別会計予算、多摩川緑地維持管理特別会計予算を審議・承認されました。
 平成25年度開催の国民体育大会(多摩国体)の準備が急がれます。稲城市は軟式野球競技が開催予定です。

平成二十三年度 体育協会 評議員会開催

平成二十三年・二十四年度
稲城市体育協会役員

会長 福島 佐一
 副会長 大河原 克己
 副会長 志村 寛
 監事 志村 清三
 監事 山本 有美

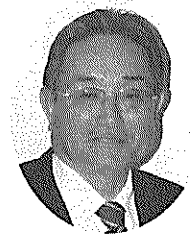
“東日本大震災”

今年3・11の大災害は人命は勿論のこと、財産、職場の全ても奪ってしまいました。被災された皆様には心からのお見舞いを申し上げます。国民の皆さんがこの災害を心し、少しでも伝えようと義援金の募金は地域・団体・職場へとひろがりました。体育協会ではこの惨状に対し、本年度の稲城市スポーツ大会を自粛中止と決定しました。私達は、体協役員・各連盟の協力を得て、被災地支援の東日本大震災の義援金募金を実施しました。

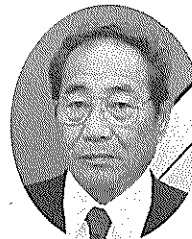
お陰様で義援金は総額709,106円を読売新聞社「読売光と愛の事業団」に委託致しました。本当にありがとうございました。支えあうこと、助け合うことを改めて感じました。被災地の復旧・復興を心から願っています。

稲城市体育協会の福島会長は日本オリンピック委員会100周年記念事業功労者として日本体育協会より表彰されました。福島会長は東京都の体育協会の役員を4期にわたり務め、長年にわたり東京都の体育行政の発展に貢献されたものです。

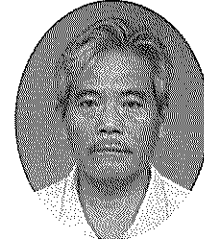
志村清三さんは、稲城少年剣道クラブの指導者として青少年育成に尽力されました。昭和52年より体育協会の評議員を、平成13年からは監事を勤められ体育協会の事業運営を見定め、適正な執行を確認して尽力されています。



日本体育協会
 功労者賞
福島佐一さん



東京都体育協会
 生涯スポーツ功労者表彰
志村清三さん
 (剣道連盟)



東京都町村体育協会連合会
 功労表彰
城戸修さん
 (軟式野球連盟)



団体受賞

東京都体育優良団体表彰
 バスケットボール連盟
 稲城市バスケットボール連盟が、東京都体育優良団体として表彰されました。

昭和53年の結成以来地域のバスケットボールの普及に努めて来ました。小学生・中学生チームを含めて市民の体力向上及びバスケットボール技術の普及発展を図り、スポーツマンシップの

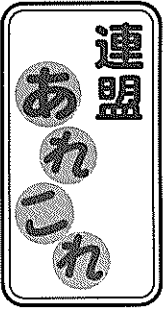
東京都体育協会の生涯
 スポーツ優良団体表彰
 稲城市ゲートボール連合
 稲城市ゲートボール連合は、昭和63年体協加盟以来ゲートボールの普及振興を図り、体力向上と健康維持につとめ、地域との親睦に寄与されています。今後ますます連合の充実と発展を期待します。

稲城市一般表彰

本年度稲城市一般表彰者として次の皆さんが表彰されました。それぞれ連盟及び本部役員として、長年に亘り尽力されています。引続き活躍を期待します。

鈴木保彦さん (常任理事)
中山亨一さん (剣道連盟)
吉野幸男さん (軟式野球連盟)

○一般表彰
宮村恵美子さん (バレーボール連盟)
伊藤多美さん (バレーボール連盟)
前田好正さん (剣道連盟)
田口文夫さん (バドミントン連盟)
山中俊夫さん (柔道連盟)



来たれ！弓道教室

★弓道連盟

当連盟の本年度の各大会成績は、今迄の処、市町村大会の第7位入賞のみと、残念ながら日頃の練習の成果を十分発揮しきれない結果となっており、改めて団体戦の難しさを痛感している処です。

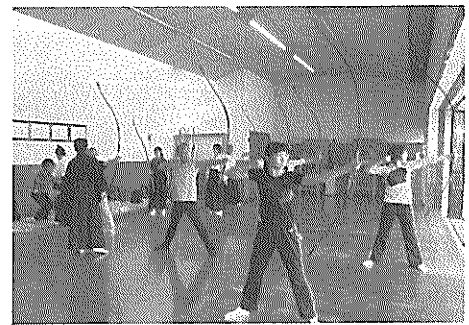
弓道は一般的に高年齢層中心に行われているスポーツと思われがちですが、実際には中学生の全国大会も開催されるなど低年齢層にも幅広く受け入れられているだけに、今後若者に期待する処も多々あります。また主婦層にも根強い人気があり、現在女性会員が男性会員数を上回る勢いです。

この処保護者の方から、習い事としての弓道への関心も多いため、定期的な開催している弓道教室においても、昨年から保護者同伴を条件に中学生の受入れに踏み切るなど門戸を広げ、多くの方に弓道を経験して頂けるよう努めております。

老若男女の方に生涯スポーツとしての弓道を楽しんで頂くことで、弓道から学ぶ内容を社会生活の中で少しでも応用して頂ければと思います。

今後は青少年育成事業にも参加できるように、指導員の体制を充実させ、弓道の要諦である、至誠と礼節を重んじる人材を、一人でも多く育て上げていきたいと思っております。

(米花 記)



弓道教室

ジュニア育成強化合宿 柔道指導資格者制度

★柔道連盟

今年の夏季強化合宿は、群馬県の下仁田に行きました。

保護者の中に、下仁田出身の方がおられて、その縁で合宿を計画し、保護者の方の案内で、2月の寒い時期に下仁田ネギや蒟蒻の産地の町を現場実踏しました。

稽古する道場は、なんと元下仁田警察署の道場で、今は下仁田少年柔道教室の道場になっていました。現在は藤岡警察署下仁田交番と下仁田支所になっています。

宿は近くの割烹旅館ですが、合宿をしたと相談したら、一般合宿の宿と同じような値段にして頂きましたが、子供が暴れて高価な調度品等を壊さないかと心配しました。

道場は、何時でも使用可能で初日は、到着後すぐに稽古をして、午後7時から下仁田少年柔道教室の稽古に参加させて頂きました。下仁田少年柔道教室には、全国大会に出場する6年女子重量級の選手がいて、大阪での全国大会に出発前日なのに遅くまで稽古に参加してくれたので、稲城のジュニアもレベルの高さを知るいい勉強になったと

思います。

午後9時、宿に戻り風呂に入ると消灯を告げない内に寝てしまいました。

翌朝は、6時から体力強化の運動を1時間して、朝食後一休みしてから、蒟蒻作り体験教室で蒟蒻作りを体験しました。

蒟蒻と書いたのは蒟蒻作り体験教室で「下仁田では「こんにやく」ではなく「蒟蒻」といいます」と説明を受けました。

夏休みも終わりの時期で、夏休みの宿題「自由研究」になった子供もいました。

午後は激しい稽古して、夕食は山でバーベキューをして満腹になり、帰路では外灯に惹かれて来たカブトムシやクワガタムシを捕まえて大騒ぎをしました。

最終日は下仁田の子供と稽古をした後、親善試合をして楽しい時間を過ごしました。

来年度から中学校体育で「武道」必修が始まります。

講道館と全日本柔道連盟では、全日本柔道連盟指導者資格制度を平成25年導入のため「講道館 教科柔道指導者講習会」安全指導・基本指導の講習が始まりました。

「公認指導員」にA・B・Cのレベルを付けます。Aは全国レベルの指導者としての専門的指導力を有する。Bは地区を代表するレベルの専門的指導力を有する。Cは指導者に必要な基礎的指導力を有する。

受験資格はそれぞれあります。ここでは省略致します。

講道館柔道は柔道ルネサンスを始めてから大きな変革が起きています。特に国際柔道連盟のルールや審判規定はレスリングとの差別化を含め大きな変革が起きています。

柔道の国際化が柔道の移り変わりを続けて行くでしょう。

(島津 記)

当協会が誕生してから15年以上が過ぎ、少しは名を知られるようになったと思いますが、まだまだミニテニス競技自体の認知度が低いのが残念です。

去る6月に東京都ミニテニス協会が、区市部の体育指導員研修会に於て実技の体験をしてもらい、PRしました。

25年の多摩国体では、9月26日にデモンストレーション競技として、立川市立柴崎体育館で全国の関係者にPRする予定です。

当協会の現況は、会員50名のクラブとしては中々のものだと自負しています。毎年6月に実施している稲城交流大会は、150名を超える参加者を得ています。ちなみに今年の大会では24ヶ所の連盟協会のエントリーがあり160名を超える大会を開催しました。

又当日は稲城体協会長直々に御出席いただき、つぶさに大会の運営等も御視察下さいましたこと、この紙面を借りて報告がたが厚くお礼を申しあげます。

会員の技量の進歩はすばらしく、各地で実施される大会では必ずと云ってよい程、3位以内の入賞ペアーが出せるようになりました。これもひとえに市体



柔道強化合宿

★ミニテニス協会

協会のバックアップで、体育館メインアリーナを十分に活用させてもらい、技術の向上が一段と計られたものと、感謝しています。

(渡邊 記)

解決に努めていきたいと思えます。

バレーボールは、1つのボールを仲間が繋げるスポーツです。そこから、信頼感や責任感、達成感、そして「強い絆」が生まれます。これが最大の魅力です。

一人でも多くの人たちに、この素晴らしい魅力を届けるために、お手伝いをしていきたいと思っております。

今度も、皆様のご指導ご鞭撻を頂き、連盟一同努力していきたいと思っておりますので、よろしくお祈り致します。

(田尻 記)



とどけ！バレーの魅力

★バレーボール連盟

まず初めに、当連盟の紹介をします。

現在の登録チームは、小学生が4チーム、中学生が6チーム、一般女子が5チームで約300名のバレーボールがいます。

連盟では、各種大会や講習会等の開催、その運営を担っています。

さて、バレーボールは、年少者から中・高齢者まで男女を問わず、各人の目的、体力・技能・関心等に合わせ、年間を通じて気軽に楽しめる競技種目です。出来るだけ多くの人に、バレーボールを楽しんでもらいたいのですが、残念ながらここ数年間はチームが増えず、横ばい状態となっています。

そこで生涯スポーツの一環として、小学生の頃からバレーボールに接することで、運動能力・資質を養ってもらい、成人になるまで継続的に活動する事が、バレーボールの普及拡大に繋がると考えます。

そのためには、いかに多くの子供達に関心を抱かせられるかが、今後の課題となってきます。

指導者不足や、チームマネージメントの難しさもあります。連盟では、地域との連携を取りながら、しっかりとサポート出来る体制を整え、一緒に問題

平尾剣友会活動

★剣道連盟

会長大嶋修先生(剣道教士七段)の元に、会員40名余、毎週土曜日(午後4時半から午後7時まで)と、火曜日(午後7時から9時まで)主に平尾小学校体育館で稽古に励んで居ります。

稽古の指針として、財団法人全日本剣道連盟の制定した、剣道の理念、即ち剣道は、剣の理法の修練による人間形成の道である。又、剣道修練の心構えとして、剣道を正しく真剣に学び、心身を練磨して旺盛なる気力を養い、剣道の特性を通じて礼節をとくとび、信義を重んじ誠を尽くして、常に自己の修養に務め、以って国家社会を愛して、広く人類の平和繁栄に、寄与せんとするものである。

少年(小学生から中学生)の、稽古は、土曜日は、午後4時45分から6時までである。

準備運動が終わったら、基本稽古である。面の切り替えしをする。正面打ち、それから面の斜め上を、左、右、左、右と繰り返して打つ。此の時、腹の底から大きな声で、メン、メン、と叫ぶ。これをやると初心者は、

息が上がる。其れをこらえて続ける。

それから、面の打ち込みである。続けて、小手の打ち込み、胴の打ち込み、小手、面、の連続の打ち込みで、汗が、したたれ流れる。いい汗をかく。

少年は、突きの稽古は無い。突きは、高校生以上である。

その次は、掛り稽古である。先生方に、小手、面、胴を、打たしてもらい、最後に互角稽古で終る。中には、疲労困憊して激しい息づかいをする者もいる。

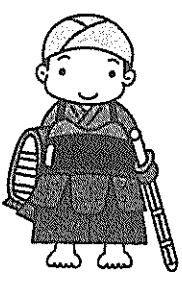
稽古の間2回程、休憩を取る。一般の人達は、6時10分から稽古を始める。中学生も、希望者は、続けて大人の人達と稽古をする。一般の人達は、主に、互角稽古である。さすがに、気合が入って居り、圧巻である。大きな声と共に、大きな首を立てて踏み込む。

第37回稲城スポーツ大会剣道競技(平成21年6月7日)の団体戦で、優勝を飾った。

今後共、剣道を通して、心身を磨き、友情を培い、明日の人生の糧としたい。(中山 記)



剣道競技 スポーツ大会団体優勝



東京都 個人戦の結果

★空手道連盟

■第17回

東京都シニアオープン大会

11月28日 新宿コスミックSC

○形競技 男子60才代で矢野勝

司五段は、一回戦で敗退した。

女子40才代の瀧野参段は一回

戦の判定で3:2で敗れたが、

判定に疑義があった。

○組手個人戦

男子 入賞者無し

女子 2年連続5位入賞の河

部晶子初段は、5回戦に進み

準決勝で敗れたが3位入賞は

立派。

瀧野さとみ参段は、5位入賞

■第25回 東京都小学生大会

5月29日 東京武道館

本年は連盟は約60名の選手を

出場させるべく練習に励んでい

たが、震災の影響で武道場が使

用できなくなり、練習の場が無

く、出場をとりやめたが、選手

達は残念がっていた。

■第41回 東京都選手権大会

(団体選考兼)6月26日東京武道

館

○形競技 一般男子

田倉優太参段五位で敢闘賞

受賞。就職し練習のできない

職業に就いたが、形は一人稽

古を積み重ねたとのことで

堂々と勝ち進み五回戦で強化

選手の中村選手に2対3でや

ぶれたが立派。

○組手競技 一般男子

田倉隼斗参段の健闘で、一

回戦を延長で2対1で2回戦

に進み全国的に知られた細貝

選手(国土館大コーチ)の大会

でも優勝と対戦敗退した。

少年男子 形64名(3)組手1

21名(3)と出場形、組手と

も2回戦に進出する選手がい

なかつたことは残念である。

■第25回東京都中学生大会

7月24日(日) 東京武道館

全国中学生大会の選手選考

を兼ねる大会が形383名

(6)組手426名(5)計8

09名(1)が集い行われ

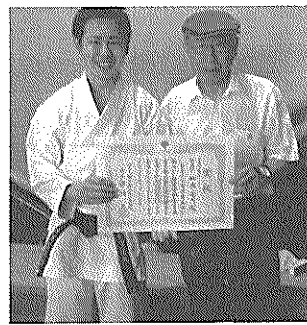
た。選手は健闘したが、形、

組手とも3回戦までに敗退し

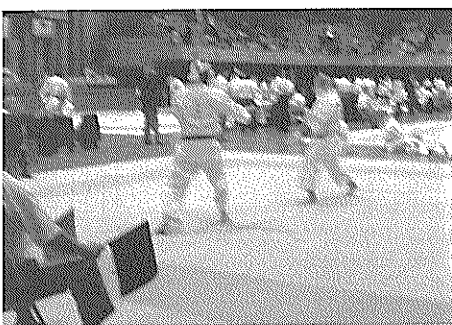
た。

()内は当市参加者

(神田 記)



東京都選手権大会 一般男子形5位入賞を喜ぶ田倉優太選手



東京都選手権大会 一般男子組手重量級二回戦 左 細貝選手 右 田倉隼斗選手

スポーツ交流

★スキー連盟

稲城市スキー連盟は、198

1年に設立され、スキースポー

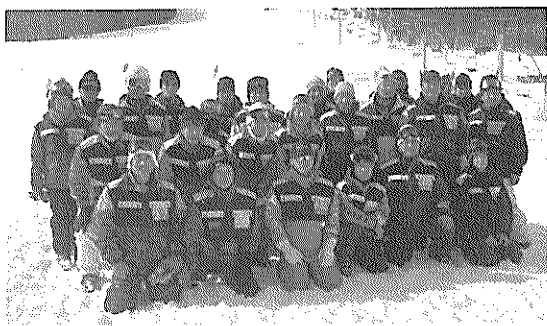
ツを通じて、市民の皆さんの心

身の健康維持・増進を目的に地

道に活動を進めています。

毎年行われる稲城市民体育大

会の「スキーの部」の開催を始



大空町との交流スキー：スキー場にて

め、ジュニアからシニアまで各種スキー教室やバジネット等、大自然を満喫しながらスキーを通して広がる輪を大切に一人でも多くの方々がスポーツを楽しんでもらうよう企画運営を行っています。今年もスキー連盟設立30周年と、稲城市スキー連盟設立30周年記念「大空町女満別スキー協会交流スキーツアー」を2月19日～21日にかけて開催しました。稲城市から連盟会員を中心に総勢20名が参加し、ツアーの3日間全てが晴天に恵まれ、北海道のパウダースノーを存分に堪能する事ができました。女満別スキー協会の方々との雪上での楽しい交流、大空町体育協会役員の方々にも参加して頂いたおかげで充実したツアーの体験など大空町の方々との大変、心温まる触れ合いに寒い国の熱い思いを体験できるツアーでした。行事が盛況の内に終わる事ができたのも稲城市体育協会の支援の賜物と感謝しております。紙面を借りてお礼申し上げます。



祝 稲城市スキー連盟 設立 30周年 稲城市スキー連盟・女満別スキー協会交流会

連盟行事は、冬のスキーばかりで無く、年間を通して、春の花見、夏のブルーベリー摘み、バーベキュー、秋には芋煮会と健康を皆で確認しあい、笑顔が絶えず皆が健康で生涯スポーツとしてのスキーを楽しめるよう今後も活動を続けてまいります。

稲城市体育協会 武蔵村山市体育協会 交流会開催

平成23年10月5日武蔵村山市体育協会事務所において交流会を開催しました。

宮下会長及び行政より生涯学習スポーツ担当小川部長から歓迎の挨拶を受けました。

引続き当協会福島会長の挨拶の後、交流会参加者の紹介があり、武蔵村山市体育協会の概要についての説明がありました。

1. 武蔵村山市の人口と世帯

(1) 市政施行 昭和45年(1970年)

(2) 人口 男36,037人 女

35,868人/計71,905人

(3) 世帯 29,433世帯

(平成23年9月1日現在)



稲城市体育協会との交流会

- 2. 稲城市
- (1) 市政施行 昭和46年(1971年)
- (2) 人口 男43,197人 女 42,015人 /計85,212人
- (3) 世帯 36,061世帯
- (平成23年10月1日現在)

- (2) 目標
- ① スポーツ振興及び行政、加盟団体との連携強化
- ② 役員の人材発掘活動及び指導者人材バンクの登録
- ③ 「スポーツ祭東京2013」の実行委員会、専門委員会の活動推進
- 担当競技 ハンドボール(少年女子) 都道府県19チーム
- 平成24年リハーサル大会、平成25年第68回国体
- ④ 平成24年(第46回市町村大会) 第3ブロック担当準備
- ・ 剣道競技(男・女) 7月22日
- ・ 空手道 7月29日
- ・ 軟式野球(予選) 7月14日、7月21日
- (3) 加盟団体数 21団体、会員 4,000名
- (4) 役員 78名
- (5) 事務局体制 武蔵村山市役所第3庁舎内に事務所
- 4. 課題
- ① 財政基盤の確立
- ② ジュニア育成地域推進事業の推進
- ③ 姉妹都市「長野県栄村」



都民体育大会開会式



市町村総合体育大会開会式



市民体育大会(レクリエーション) グランドゴルフ

交流事業の推進

5. 武蔵村山市の団体進捗状況についての説明がありました。

6. 両体協の課題等質疑応答を行う。

このあとかたくり温泉へ移動入浴後懇親会を開き交流を深めました。

各種大会結果

第64回都民体育大会(春季大会)
開会式 日時:平成23年5月8日(日)
会場:東京体育館 メインアリーナ
大会期間:平成23年5月5日(日)~6月12日(日)

第45回市町村総合体育大会
開会式 日時:平成23年7月23日(土) 午前10時30分
会場:羽村市生涯学習センター
大会期間:平成23年7月16日(土)~8月7日(日)

平成23年度 都民生涯スポーツ大会
大会期間:平成23年8月20日(土)~9月23日(祝)

第65回 都民体育大会(夏季大会)
大会期間:男子の部 平成23年10月17日(月)
女子の部 平成23年10月18日(火)



第43回稲城市民体育大会

大会期間:平成23年9月4日(日)~24年1月



市民大会開会式▶

9月4日(日)稲城市中央公園総合グラウンドにおいて総合開会式が行われました。21競技にレクリエーション競技を加えてのスタート!!

熱中症予防講習会

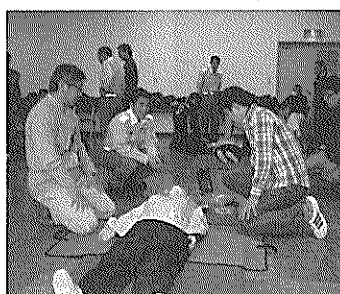
平成23年6月5日(日)、地域振興プラザ4階会議室に於て、大塚製薬(株)永島純氏を講師に「熱中症予防講習会」を開催しました。



熱中症予防講習会▲

体育協会研修会

平成23年2月6日(日)消防署講堂において消防署職員を講師に「救急救命講習(AEDほか)」の研修を行いました。



救急救命研修会▲

編集後記

平成23年度は東日本大震災は勿論のこと、集中豪雨による大被害と国民が試練を受ける様な年でもありました。一日も早い復興を祈らずにはいられません。

私達は特別な被害もなく、健康でスポーツに参加出来る喜びに感謝しましょう。

又、体協を取りまく環境の中で、体育協会の法人化についての検討も急がなければなりません。

- 編集委員長 池水 和己
委員 鈴木 保彦
吉野 三男
宮崎 寛康
徳永 寛
小山 修
大野 行男
田中 秀人
安達 美子
福島 佐一
志村 寛